

個別研究報告 プログラム

○印は報告者

※一人20分【発表時間13分 質疑応答5分 交代時間2分】

部屋		A
時間	座長	タイトル/氏名 (所属)
10:00~ 10:20	武田晃治	飛翔制御のテントウムシを活用した農業分野の教材開発
		○清水 敏夫 (千葉県立農業大学校 病害虫専攻教室/東京農業大学大学院農学 研究科環境共生学専攻)・板橋 聖大 (千葉県立農業大学校)・武田 晃治 (東京農業大学大学院 農学研究科環境共生学専攻)
10:20~ 10:40	武田晃治	サケの食物連鎖上の「生物色素」に着目した環境科学 教育
		○蝦名 元 (東京農業大学 農学研究科 環境共生学専攻)・武田 晃治 (東京農業大学 農学研究科環境共生学専攻)
10:40~ 11:00	北田紀久雄	宮沢賢治の「木炭を活用した事業」アイデアとは何か 一賢治の書簡を手掛かりとして
		○大須賀 匠 (東京農業大学博士課程3年/農学研究科環境共生学専攻) ※指導教官:熊澤恵里子先生/両角先生・板垣先生紹介
11:00~ 11:20	北田紀久雄	農業経営別にみる農福連携の福祉面からみた雇用時期と作業内容に関する研究
		○町田 怜子 (東京農業大学 地域環境科学部地域創成科学科)・小林 修己(㈱武蔵野種苗)

部屋		B
時間	座長	タイトル/氏名 (所属)
10:00~ 10:20	堀田和彦	エシカルフードチェーンアプローチを適用した農福連携の実態分析
		○間々田 理彦 (愛媛大学農学部)・安江 紘幸(東北農業研究センター)・河野 洋一(帯広畜産大学)・野口 敬夫(東京農業大学)・原 温久(東京農業大学)・下口 ニナ(東京農業大学)・大室 健治(農林水産省)
10:20~ 10:40	堀田和彦	食料自給率が与える危機感の真意 — 一カロリーベース食料自給率とは食生活の変化による食料の海外依存度に過ぎない—
		○宮田 愛 (県立広島大学)・朴 壽永 (県立広島大学)
10:40~ 11:00	大久保研治	台湾における日本産りんごと韓国産りんごに対する消費者意識
		○玉木 志穂 (東京農業大学)・八木 浩平 (神戸大学)・樋口 倫生 (農林水産政策研究所)
11:00~ 11:20	大久保研治	エシカル消費の認知状況と消費行動
		○原 温久 (東京農業大学)・間々田 理彦 (愛媛大学)・安江 紘幸 (農研機構東北農業研究センター)・下口 ニナ (東京農業大学)・野口 敬夫 (東京農業大学)・河野 洋一 (帯広畜産大学)・大室 健治 (農林水産省)